



Cisco ボイスメールポートウィザード

オプションのソフトウェアである Cisco Unity は、Cisco IP テレフォニー ソリューションの一環として利用され、ユーザがコールに応答できないときに、ボイス メッセージ機能を提供します。この章では、ボイス メッセージ システムに対して、Cisco CallManager で Cisco ボイスメール ポートの追加と設定を行うために必要な手順について説明します。

Cisco Unity の設定の詳細については、『*Cisco CallManager 4.0 Integration Guide*』を参照してください。

ボイス メッセージと Cisco CallManager との接続性についての詳細については、『*Cisco CallManager システム ガイド*』の「ボイスメールの Cisco CallManager への接続性」を参照してください。

Cisco Voice Mail Port Wizard ツールを使用すると、Cisco CallManager 管理者は、Cisco ボイスメール サーバに関連付けられているポートを Cisco CallManager データベースに迅速に追加または削除できます。次の項では、この手順について説明します。

新規の Cisco ボイスメール サーバとポートの追加

Cisco Voice Mail Port Wizard を使用して、新規の Cisco ボイスメール サーバとポートを Cisco CallManager データベースに追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

Cisco Voice Mail Port Wizard には、ボイスメール ポート用の一連の連続した電話番号が必要です。ボイスメール パイロット番号とそれに続く番号が使用可能であることを確認します。

手順

ステップ 1 Voice Mail > Cisco Voice Mail Port Wizard の順に選択します。

Cisco ボイスメール ポートが存在しない場合は、追加する Cisco ボイスメール サーバの名前を入力し、[ステップ 5](#)に進みます。ポートが存在する場合は、[ステップ 2](#)に進んでください。

ステップ 2 Create a new Cisco Voice Mail server and add ports to it を選択します。

ステップ 3 Next をクリックします。

ステップ 4 Cisco ボイスメール サーバの名前を入力します。



(注) Cisco Unity では、この名前が Unity Telephony Integration Manager (UTIM) コンフィギュレーション ファイルの名前 (デフォルトは CiscoUM-VI1) と一致している必要があります。このウィザードでは、ポートを追加する際、自動的に <port number> というサフィックスが付加されます。

ステップ 5 Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Ports ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 ドロップダウン リスト ボックスから、追加するポート数を選択します。

ステップ 7 Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Device Information ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 適切な設定値を入力します (表 63-1 を参照)。これらの設定値がすべての新規ポートに適用されます。

表 63-1 Voice Mail Port Wizard Device Information の設定値

フィールド	説明
Description	デバイスの目的を入力します。
Device Pool	デフォルト値 Default または定義されたデバイス プールを選択します。
Calling Search Space	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。</p> <p>List items where Name contains フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。</p>
Location	<p>デフォルト値 None または定義されたロケーションを選択します。</p> <p>ロケーションは、このデバイスとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションを None に設定すると、そのロケーションの機能では、このデバイスが消費する帯域幅を把握しません。</p>
SCCP Phone Security Profile	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、ポートに適用するデバイス セキュリティ モードに基づいて、セキュリティ プロファイルを選択します。Cisco ボイスメール ポートは Certificate Authority Proxy Function (CAPF) をサポートしません。このことは、セキュリティ プロファイルに CAPF の設定が含まれている場合も同様です。プロファイルをポートに適用した場合、Cisco CallManager はこれらの設定を無視します。</p> <p>セキュリティ プロファイルの詳細については、『Cisco CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
AAR Calling Search Space	<p>Automated Alternate Routing (AAR; 自動代替ルーティング) の実行時にデバイスが使用するコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、帯域幅不足によってコールがブロックされないように、収集された (発信) 番号をルーティングする方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。</p>

ステップ 9 Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Directory Numbers ウィンドウが表示されます。

ステップ 10 新規 Cisco ボイスメール サーバの電話番号設定を入力します (表 63-2 を参照)。

表 63-2 Voice Mail Port Wizard Directory Number の設定値

フィールド	説明
Beginning Directory Number	Cisco ボイスメール サーバにアクセスするためにコールする番号を入力します。新しいポートはそれぞれ、次に使用可能な電話番号を受け取ります。
Partition	<p>この一連の電話番号が属するパーティションを選択します。パーティションを使用しない場合は、None を選択してください。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもパーティションの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにパーティション名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるパーティションのリストで希望するパーティション名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。</p>
Calling Search Space	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。</p>

表 63-2 Voice Mail Port Wizard Directory Number の設定値 (続き)

フィールド	説明
AAR Group	このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループは、帯域幅不足のためにコールがブロックされないように、コールをルーティングするためのプレフィックス番号を提供します。AAR グループ設定を <i>None</i> にすると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。
Internal Caller ID Display	この回線へのコールが行われるときに、発信側の電話機に表示されるテキストを指定します。
Internal Caller ID Display (ASCII format)	この回線へのコールが行われるときに、発信側の電話機に表示されるテキストを ASCII 形式で指定します。
External Number Mask	外部 (発信) コールに対して、発信者 ID 情報をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。このマスクには、最長 50 文字までを指定できます。発信者 ID 情報に表示する数字列を入力します。デバイスの電話番号を表すには、X を使用します。

ステップ 11 **Next** をクリックします。

これらの電話番号を回線グループに追加するかどうかをたずねるウィンドウが表示されます。

ステップ 12 次の作業のいずれかを選択します。

- 電話番号を新規回線グループに追加する場合、[ステップ 13](#) に進みます。
- 電話番号を既存の回線グループに追加する場合、[ステップ 15](#) に進みます。
- 電話番号を回線グループにあとで追加する場合、[ステップ 17](#) に進みます。

ステップ 13 「Yes.Add directory numbers to a **new** Line Group」 オプションを選択して、**Next** をクリックします。

ステップ 14 Line Group ウィンドウに新規回線グループの名前を入力し、**Next** をクリックします。

Ready to Add Cisco Voice Mail Ports 要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco Voice Mail Port Wizard は、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

[ステップ 18](#) に進みます。

ステップ 15 「Yes.Add directory numbers to an **existing** Line Group」 オプションを選択し、**Next** をクリックします。

ステップ 16 Line Group ウィンドウで、Line Group Name ドロップダウン リスト ボックスから回線グループを選択し、**Next** をクリックします。

Ready to Add Cisco Voice Mail Ports 要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco Voice Mail Port Wizard は、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

[ステップ 18](#) に進みます。

ステップ 17 「No.I will add them later」 オプションを選択し、**Next** をクリックします。

Ready to Add Cisco Voice Mail Ports 要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco Voice Mail Port Wizard は、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

ステップ 18 この情報が正しい場合は、**Finish** をクリックして、新しいポートを追加します。

表示された情報に誤りがある場合は、**Back** ボタンをクリックして、その情報を編集します。または **Cancel** をクリックして、ポートを追加せずに終了します。

ステップ 19 Cisco Voice Mail Port Wizard が指定した新規ボイスメール ポートの追加を終了した後に、Cisco Voice Mail Port Wizard Results ウィンドウが表示されます。

このウィンドウによって、これらの新規ボイスメール ポートを使用する前に完了しなければならないその他のステップがわかります。

次の手順

メッセージ受信のインディケータ (MWI) デバイスをセットアップしたことを確認してください。詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」を参照してください。

追加情報

P.63-8 の「関連項目」を参照してください。

既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加

Cisco Voice Mail Port Wizard を使用して、ポートを既存の Cisco ボイスメール サーバに追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

Cisco Voice Mail Port Wizard には、ボイスメール ポート用の一連の連続した電話番号が必要です。ボイスメール パイロット番号とそれに続く番号が使用可能であることを確認します。

ボイスメール パイロット番号は、Cisco ボイスメール サーバにアクセスするためにコールする番号を示します。

手順

ステップ 1 Voice Mail > Cisco Voice Mail Port Wizard の順に選択します。

ステップ 2 Add ports to an existing Cisco Voice Mail server を選択します。

ステップ 3 Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Server ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 ドロップダウン リスト ボックスから、既存の Cisco ボイスメール サーバ (パイロット番号) の名前を選択し、Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Ports ウィンドウが表示され、現在設定されているポート数が示されます。

ステップ 5 ドロップダウン リスト ボックスから、追加するポート数を選択し、Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Directory Numbers ウィンドウでは、Cisco ボイスメール サーバへ追加したポートの設定情報を表示します。最後のポートに続く連続した電話番号が自動的に選択されます。また、Cisco ボイスメール パイロット電話番号と同じ Partition 設定値、Calling Search Space 設定値、Display 設定値、AAR Group 設定値、External Number Mask 設定値が使用されます。New Directory Numbers フィールドに、別の範囲の電話番号を入力することができます。

ステップ 6 ポート数を変更する必要がある場合は、Back ボタンをクリックします。

ステップ 7 Next をクリックします。

Ready to Add Cisco Voice Mail Ports 要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されます。Cisco Voice Mail Port Wizard は、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

ステップ 8 この情報が正しい場合は、Finish をクリックして、新しいポートを追加します。

表示された情報に誤りがある場合は、Back ボタンをクリックして、その情報を編集します。または Cancel をクリックして、ポートを追加しないで終了します。

追加情報

P.63-8 の「関連項目」を参照してください。

既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除

Cisco Voice Mail Port Wizard を使用して既存の Cisco ボイスメール サーバからポートを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Voice Mail > Cisco Voice Mail Port Wizard の順に選択します。

ステップ 2 Delete ports from an existing Cisco Voice Mail server を選択し、Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Server ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウン リスト ボックスから、既存の Cisco ボイスメール サーバ (パイロット番号) の名前を選択し、Next をクリックします。

Cisco Voice Mail Ports ウィンドウが表示され、現在設定されているポート数を示します。

ステップ 4 ドロップダウン リスト ボックスから、削除するポート数を選択し、Next をクリックします。

Ready to Delete Cisco Voice Mail Ports 要約ウィンドウが表示されます。

削除するポートの情報が要約ウィンドウに表示されます。Cisco Voice Mail Port Wizard は、ポート番号と電話番号が連続するように自動的に更新します。

ステップ 5 この情報が正しい場合は、Finish をクリックして、選択されたポートを削除します。

表示された情報に誤りがある場合は、Back ボタンをクリックして、その情報を編集します。または Cancel をクリックして、ポートを削除しないで終了します。

追加情報

P.63-8 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- Cisco ボイスメール ポート ウィザード (P.63-1)
- 新規の Cisco ボイスメール サーバとポートの追加 (P.63-2)
- 既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加 (P.63-7)
- 既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除 (P.63-8)
- メッセージ受信の設定 (P.64-1)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」